

2017年3月期 第2四半期決算説明資料

2016年10月28日

田淵電機株式会社（証券コード：6624）

2017年3月期 第2四半期 業績の概要

国内太陽光発電市場の急激な悪化に伴い、 大幅な減収・減益となった

単位：百万円

	2016年3月期 2 Q累計	2017年3月期 2 Q累計	増減	増減率
売上高	21,336	12,984	▲8,352	▲39.1%
営業利益	3,614	▲1,096	▲4,710	-
経常利益	3,622	▲1,364	▲4,986	-
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,478	▲912	▲3,390	-

連結セグメント別業績概要

単位：百万円

	2016年3月期 2Q累計		2017年3月期 2Q累計		前年度比増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
電源機器	16,996	3,559	8,139	▲1,223	▲8,856	▲4,782
変成器	4,339	444	4,844	234	+504	▲209
調整額	-	▲389	-	▲108	-	+281
連結計	21,336	3,614	12,984	▲1,096	▲8,352	▲4,710

電源機器事業

前年同期比 ▲52.1%

- 国内太陽光発電市場の500kW未満システム向け第1四半期の出荷量が前年度比▲46%と大幅な縮小*となるなど、市況は継続的に厳しい

*太陽光発電協会 出荷統計より

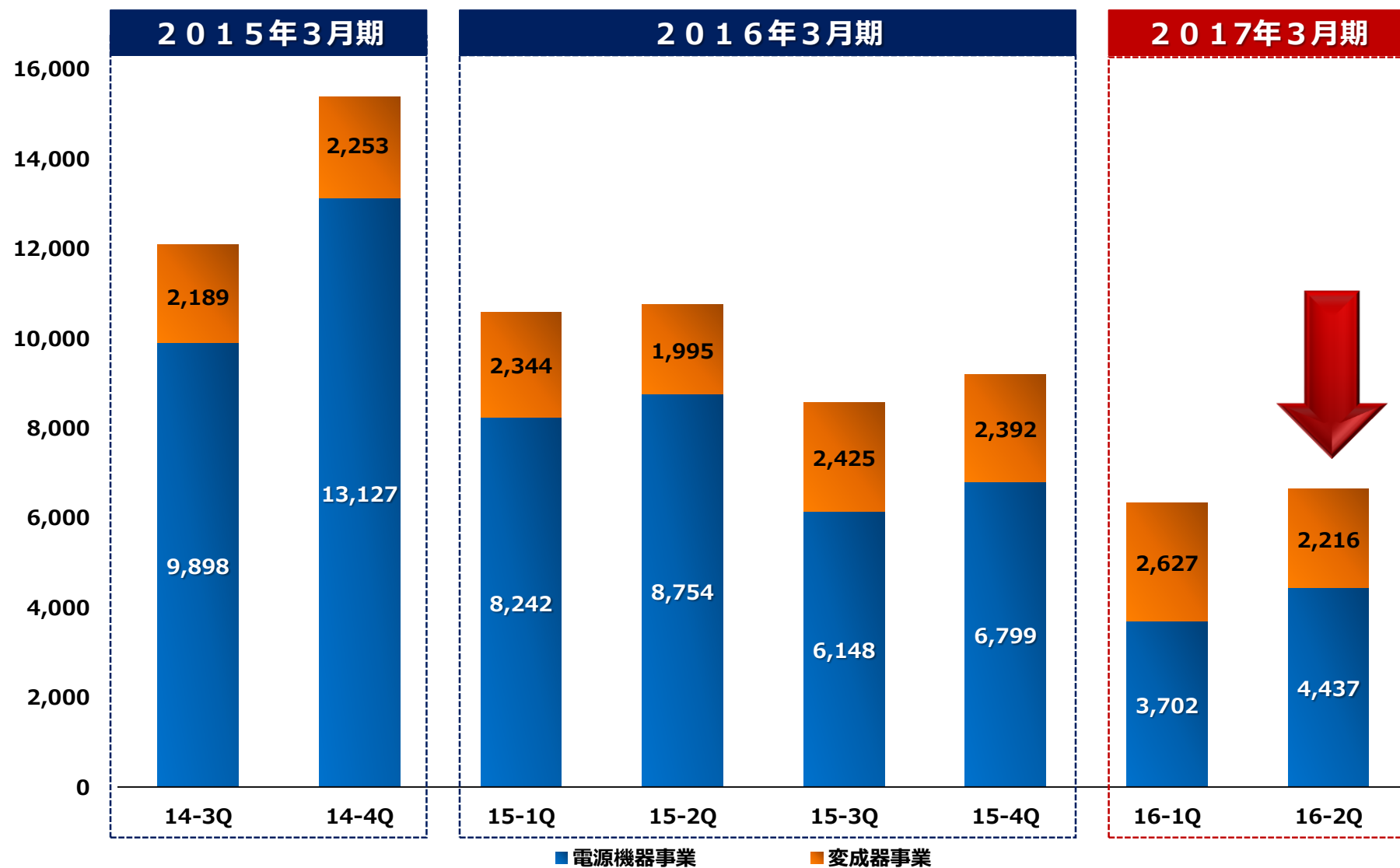
変成器事業

前年同期比 +11.6%

- 前年下期のM&Aによる新規連結子会社による新分野への売上増
- エアコン用リアクタは堅調に推移

連結セグメント別売上高四半期推移

単位：百万円

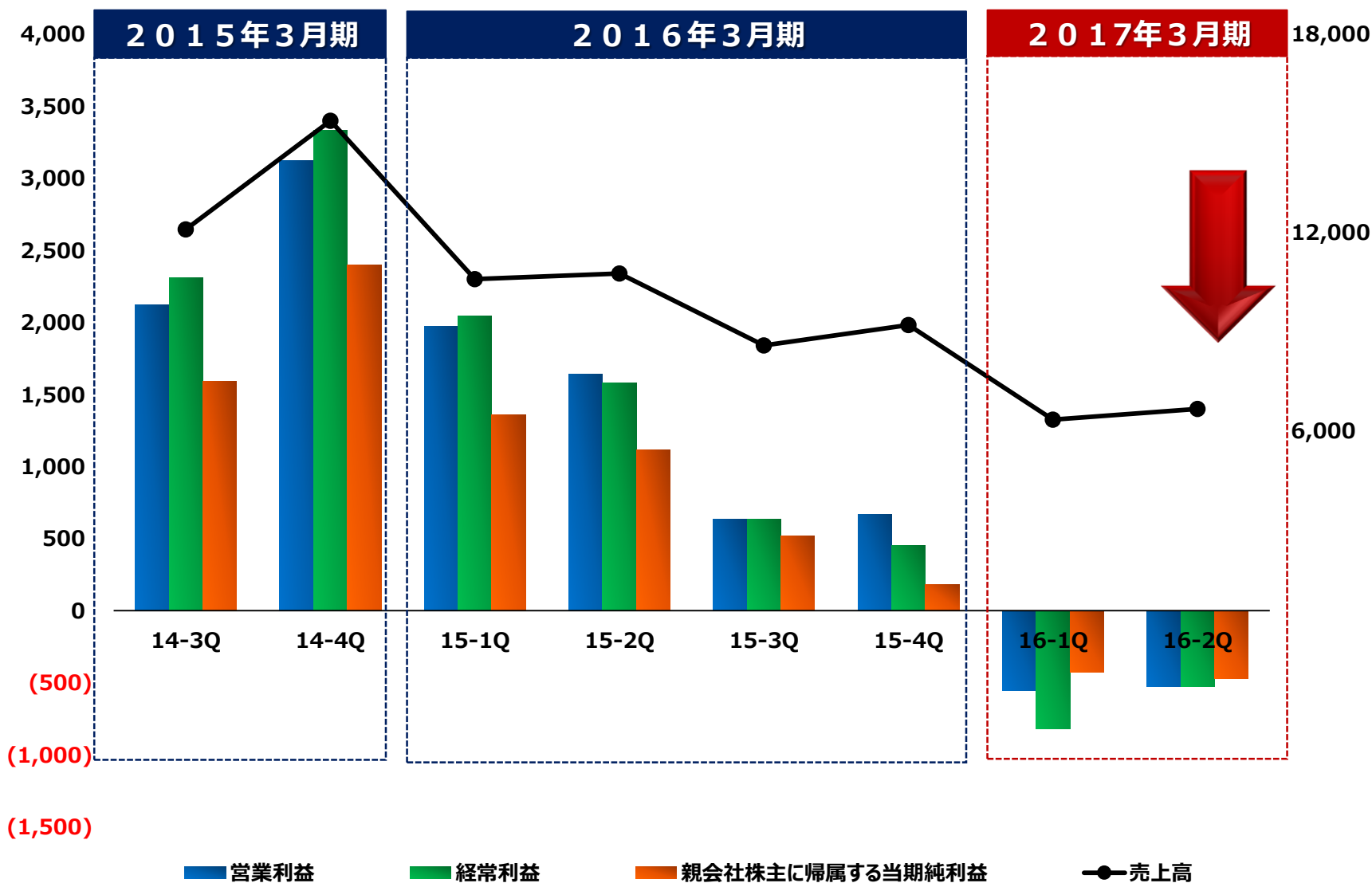


連結業績四半期推移

単位：百万円

営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益（棒グラフ）

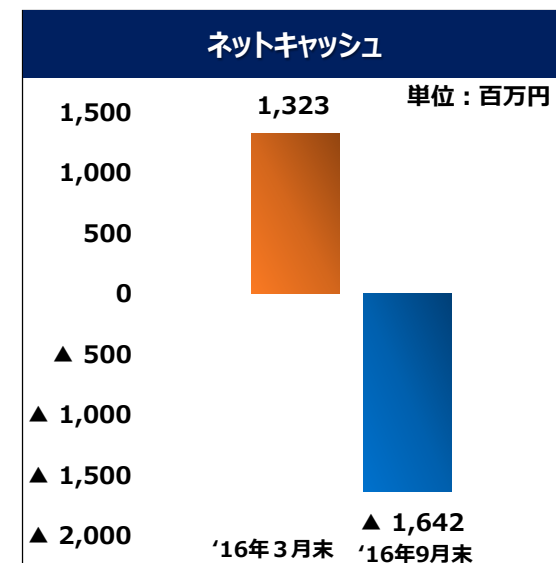
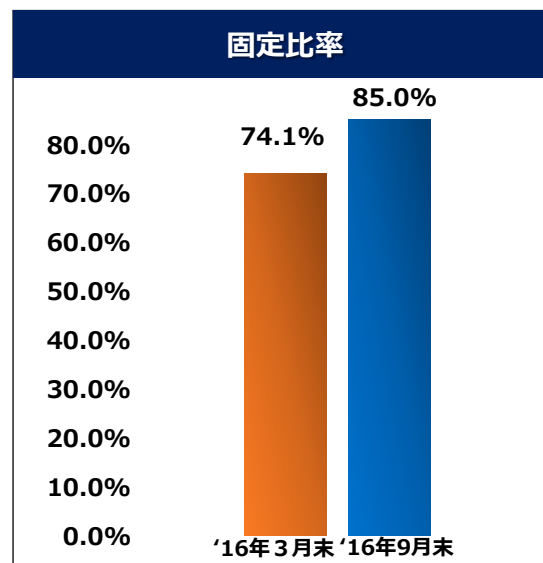
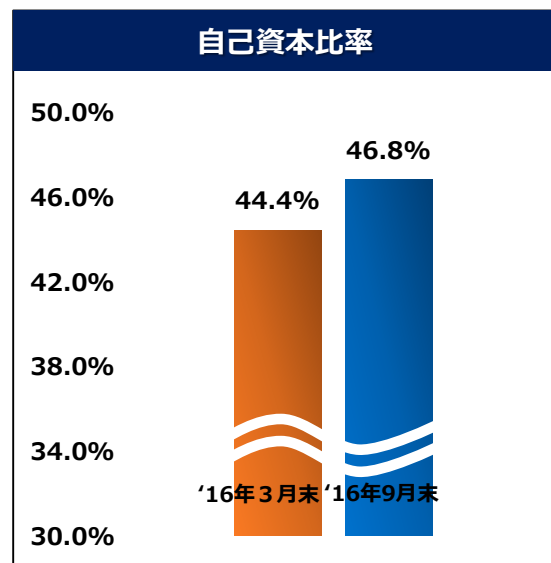
売上高（折線グラフ）



連結貸借対照表概要

単位：百万円

	2016年3月末	2016年9月末		2016年3月末	2016年9月末
現預金	5,737	2,581	仕入債務	7,425	4,263
売上債権	6,882	5,070	短期有利子負債	2,938	3,074
棚卸資産	9,659	9,125	その他（流動）	4,010	3,570
その他（流動）	2,408	1,783	長期有利子負債	1,475	1,151
固定資産合計	12,133	12,268	その他（固定）	4,610	4,335
繰延資産	1	0	純資産	16,363	14,434
資産計	36,823	30,830	負債・純資産計	36,823	30,830



今後の取り組みと見通し

上期及び通期業績下方修正（10月24日実施）

- 太陽光発電の国内市場の縮小と単価下落、北米市場における立上げ遅れによる売上減少を予想
- パワーコンディショナの売上減少と、単価下落影響に伴い、利益の減少を予想
- 下期はアミューズメント向け電源の受注や、北米事業の進展などで業況の改善が見込まれる

今期業績について

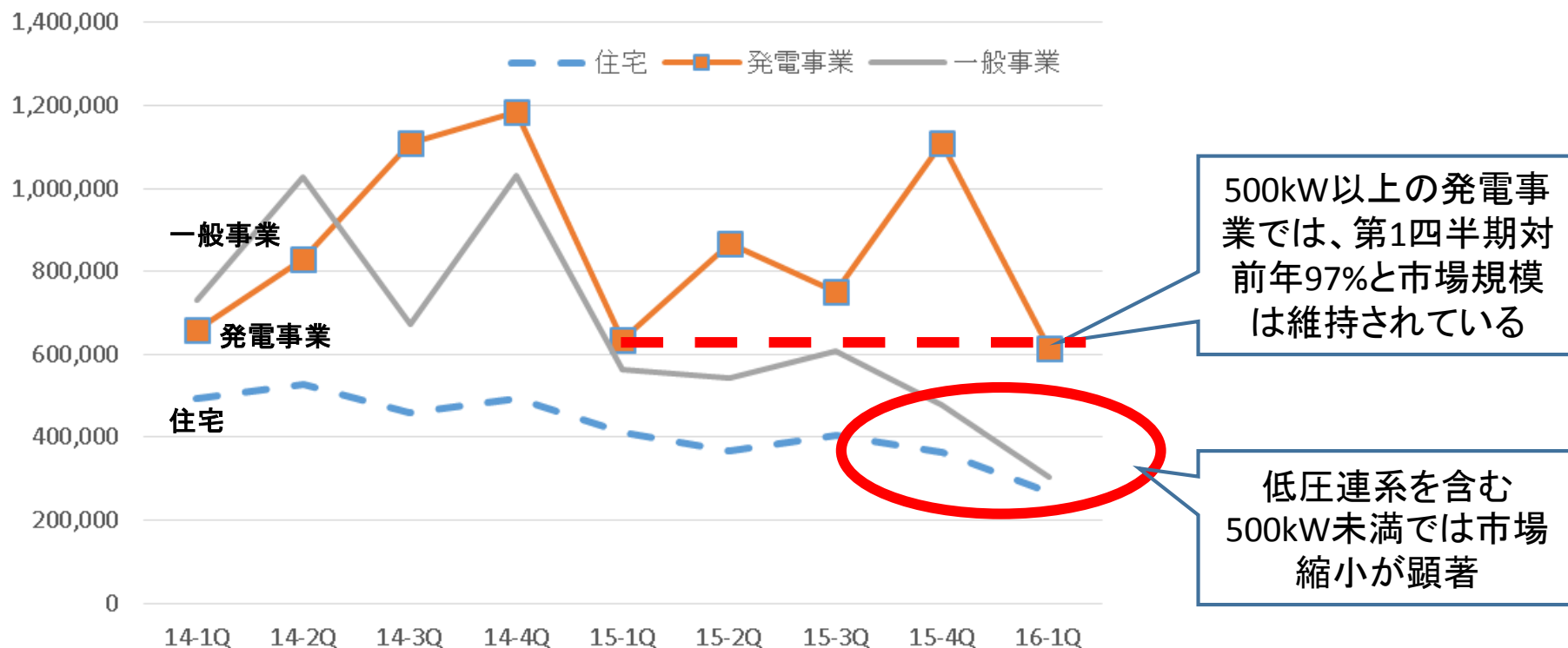
単位：百万円

	上期 実績	下期 修正予想 (7月) 修正予想 (10月)		通期 修正予想 (7月) 修正予想 (10月)	
売上高	12,984	24,000	20,016	40,000	33,000
営業利益	▲1,096	2,000	1,096	2,000	0
営業利益率	▲8.4%	8.3%	5.5%	5.0%	0.0%
経常利益	▲1,364	1,900	1,064	1,600	▲300
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲912	1,200	512	1,200	▲400
年間計 16円	中間 8円	期末 8円	期末 8円	年間計 16円	年間計 16円

注) 予想の前提となる為替レートは上期1ドル105円、下期1ドル100円です。

国内における用途別出荷量

JPEA太陽電池出荷統計より(発電事業:500kW以上、一般事業10kW-500kW)



500kW以上の発電事業では、第1四半期対前年97%と市場規模は維持されている

低圧連系を含む500kW未満では市場縮小が顕著

対応策

発電事業向け

- ✓ 既存25kWモデルによる案件の着実な刈り取りの推進
- ✓ 新機種(25kW,33kW)によるラインナップの増強と新規顧客開拓の推進

低圧連系向け

- ✓ 既存機種の高価格力の強化

蓄電ハイブリッドシステム“EIBS”



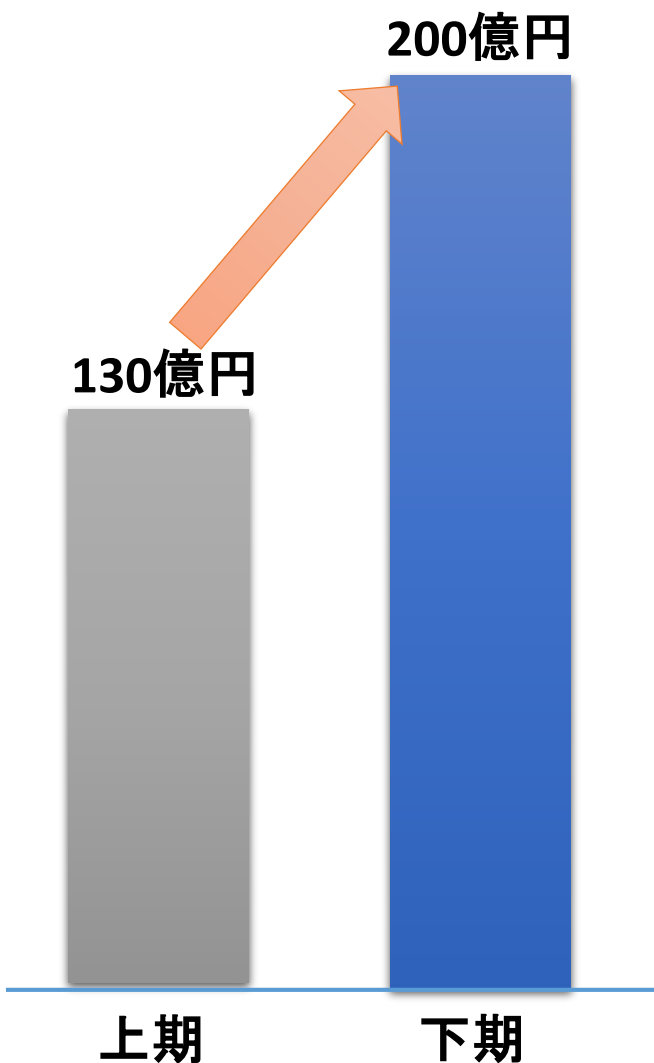
- ✓ 米国ハワイ州向けに出荷を開始
- ✓ 今後、電力料金の割高な地域や太陽光発電の普及率が高く、接続問題を抱える地域をターゲットとして拡大を進める

三相25kW/33kWパワーコンディショナ



- ✓ ルーフトップなどの中規模物件を中心に展開
- ✓ マルチMPPTによる高い発電量で差別化
- ✓ ASEAN地域向けでの展開推進

2016年売上見通し



売上拡大のポイント

1 国内発電所向けパワコン拡販

- ・2016年7月末受注開始の新型25kWパワコンと、下期発売予定の33kWパワコンによる大規模発電所への拡販の推進

2 北米向けビジネスの本格化

- ・EPCとの提携や、代理店拡充により蓄電ハイブリッド及び25kW/33kWモデルでの拡販を推進

3 アミューズメント向け電源の受注

- ・新型アミューズメント機器向け電源での売上拡大（下期生産開始予定）

4 その他新商品投入による拡販

売上拡大施策に加え、下記の原価改善と効率化を推進

➤ 製品原価の低減

徹底した製品原価の見直しと調達コストの見直しによる製品原価の低減

➤ 製品開発の効率化

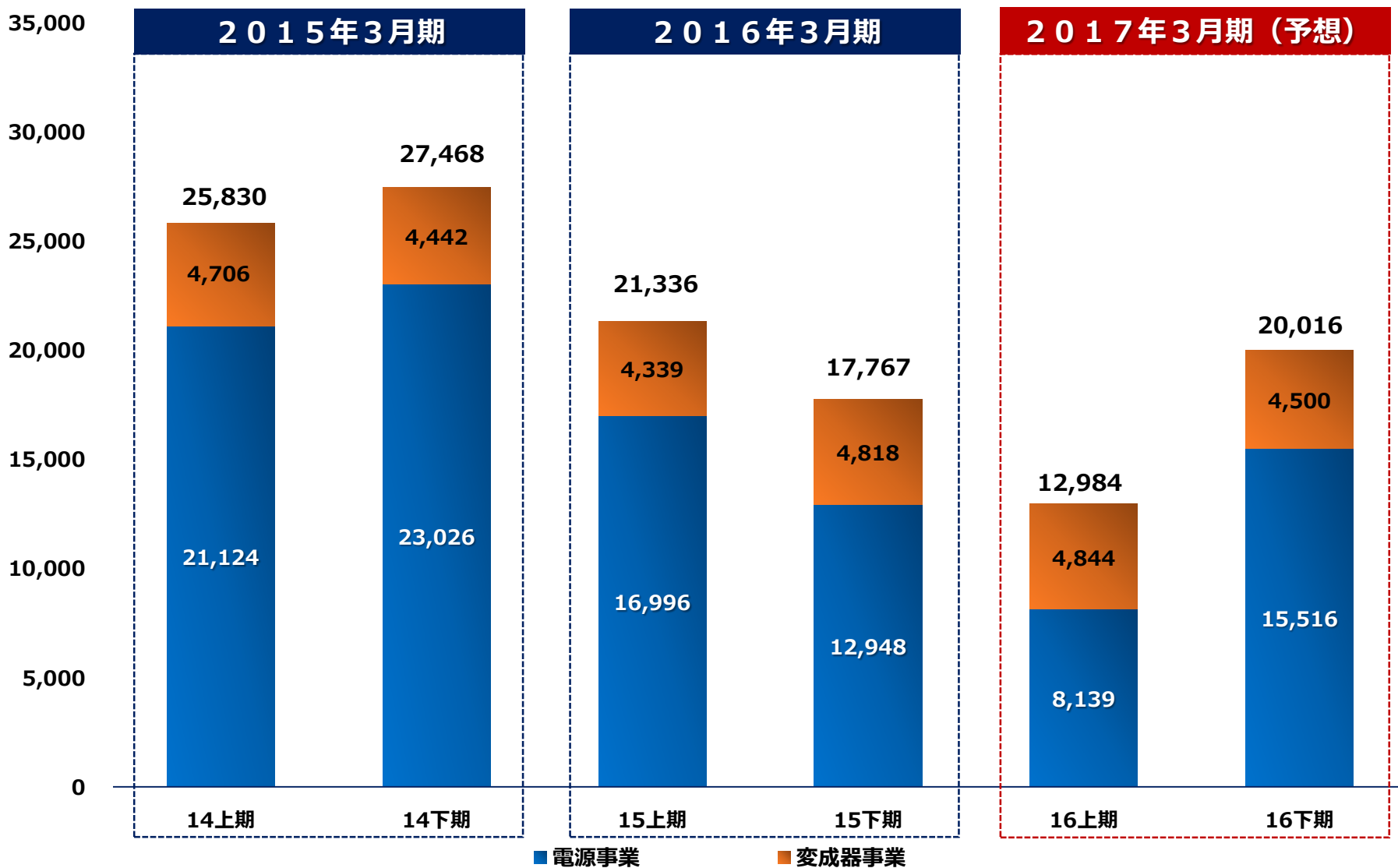
世界共通設計（ユニバーサルデザイン）によるグローバル展開のスピードアップ

➤ 自動化への徹底追及

基幹システム刷新による間接部門改革効果の刈り取り、製造自動化の追及

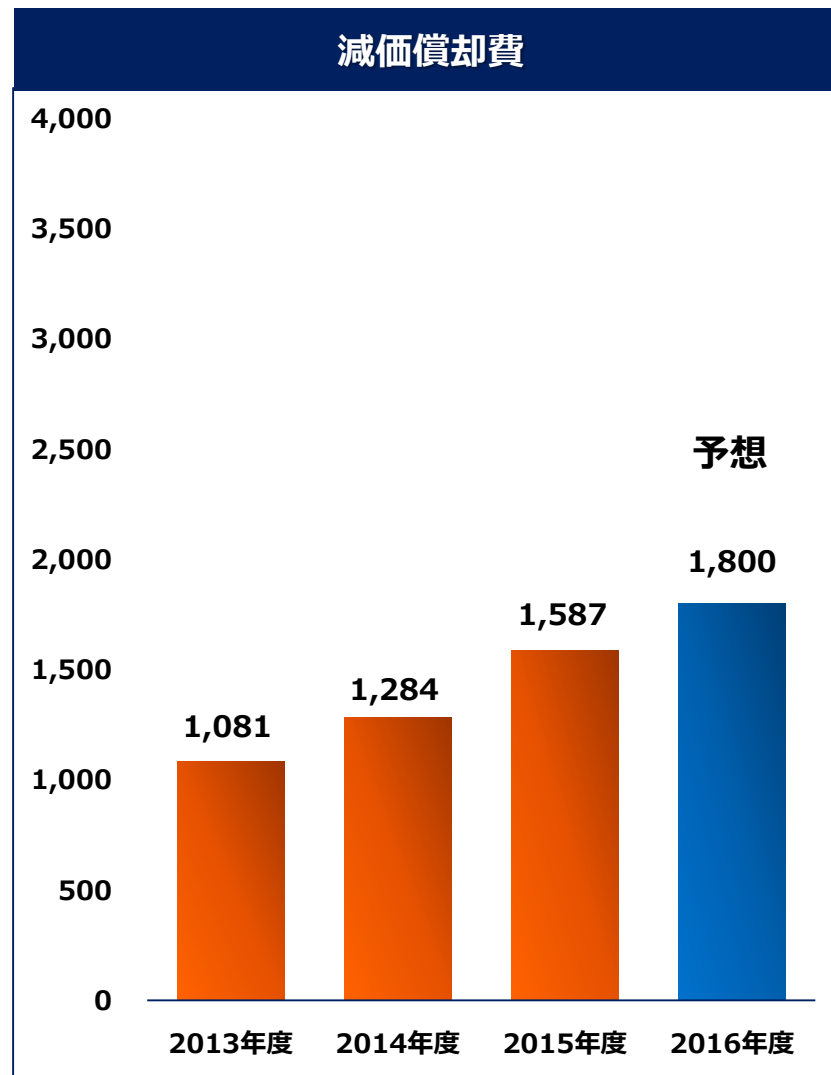
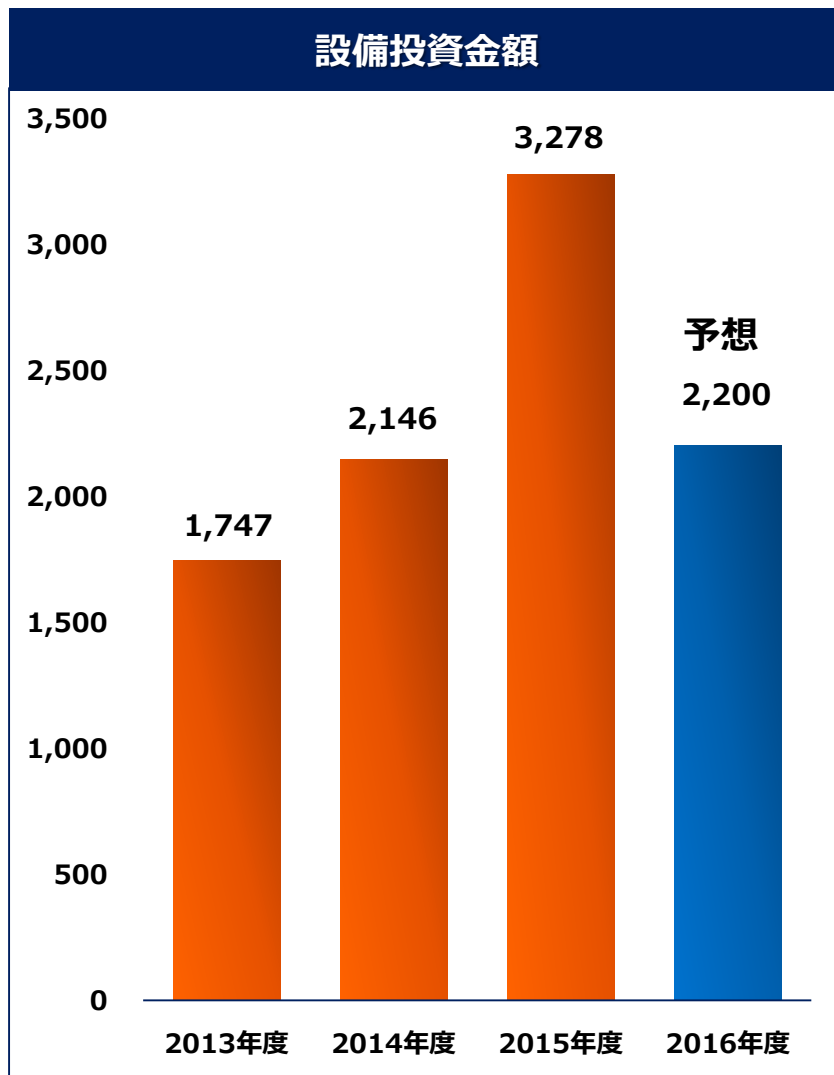
<予想> 連結セグメント別売上高推移

単位：百万円



<予想> 連結設備投資金額・減価償却費

単位：百万円



TABUCHI ELECTRIC

当資料に記載されている、当社又はグループに関する見通し、方針、戦略等は、現時点での入手可能な情報に基づき、合理的と判断した前提のもと予測したものです。実際の業績は今後起こりうる様々な要因によって異なることがあるということをご理解ください。